

名作展

絵画への意志

— 新規収蔵品からの展望 —



【右】川端龍子《寒泳》昭和39（1964）年

【左】《寒泳》下図（修復時に撮影）

平成29年

6月23日(金)

～ 10月15日(日)

■休 館：毎週月曜

（7月17日（月・祝）、9月18日（月・祝）、
10月9日（月・祝）は開館し、その翌日に休館します）

■開館時間：9：00～16：30（入館は16：00まで）

■入 館 料：大人200円、小中学生100円

※65歳以上（要証明）と6歳未満は無料

大田区立龍子記念館

〒143-0024 東京都大田区中央4-2-1

TEL&FAX：03-3772-0680

【ギャラリートーク開催日】

7月2日（日）、30日（日）、8月27日（日）

9月24日（日） 各日13：00～



昨年度、《寒泳》を修復していた際に、木紙の裏側から制作の下図が発見されました。

Ryushi Kawabata Exhibition “New additions to the collection”
June 23 - October 15, 2017 Ryushi Memorial Museum



川端龍子《大和の國》昭和17(1942)年



川端龍子《賭博者》大正12(1923)年

名作展

絵画への意志

—新規収蔵品からの展望—

平成29年6月23日(金)～10月15日(日)

日本画家・川端龍子(1885-1966)は今年、没後満50年をむかえました。本展は、今秋開催の没後50年特別展と同時進行している龍子記念館の活動の「現在」に焦点を当てた展示です。

新規収蔵し、修復を終えたばかりの《大和の國》(昭和17年)は当館初出品の作品です。同作は、当館所蔵の《伊豆の國》(昭和16年)に続く一作で、連作として発表された二つの大作がそろうことで、戦時中の画家の複雑な心境がより克明に見えてきます。同じく、新規収蔵した大正時代の作品《賭博者》(大正12年)は、新しい日本画を目指した30代の龍子の野心あふれる試みを見出すことができます。また、《寒泳》(昭和39年)を、修復作業中に本紙の裏面から発見された下図とともに展示します。龍子は下図をほとんど残さなかった画家であるため、その制作過程を知ることができる貴重な資料です。

このように、「絵画への意志」をテーマとした本展では、新規収蔵された龍子作品およびその下図等の資料を手がかりに、画家が作品にこめた意志を読みとっていきます。

今後の展示予定

- 平成29年11月3日(金・祝)～12月3日(日)
川端龍子没後50年特別展「龍子の生きざまを見よ！」
- 平成29年12月23日(土・祝)～平成30年4月15日(日)
名作展「鳥獣百科 龍子の描いた生きものたち(仮称)」

大田区立龍子記念館

〒143-0024 東京都大田区中央4-2-1

TEL&FAX:03-3772-0680

URL: <http://www.ota-bunka.or.jp/ryushi>

夏休み子ども向けプログラム

「ポップアップカードでつくろう！龍子の世界」

川端龍子の作品の世界をアレンジして、オリジナルのポップアップカードをつくります。

講師：マスコ工作室(イラストレーター・ますこえりとペーパーエンジニア・新藤君平によるユニット)

日時：8月5日(土)
14:00～16:00

対象：小学生以上
参加費：無料
会場：大田文化の森



昨年の制作物

申込方法

『FAX』または『往復はがき』でお申込みください。郵便番号、住所・氏名(ふりがな)・年齢(学年)・電話番号をご記入のうえ、下記住所、FAX番号から大田区立龍子記念館「ワークショップ」係にお送りください。(締切7月24日(月)必着。申込多数の場合は抽選)

龍子公園のご案内

隣接する龍子公園では龍子設計のアトリエと旧宅を公開しています。



アトリエ

ご案内時刻(1日3回)

開館日の10:00、11:00、14:00に職員がご案内します。



当館へのアクセス

- JR京浜東北線 大森駅西口から東急バス4番「荏原町駅入口」行乗車「白田坂下」下車、徒歩2分
- 都営地下鉄浅草線 西馬込駅南口から南馬込桜並木通りに沿って、徒歩15分